

IBM Payment Card Industry Hardware Option

PCI コンプライアンスの実現と評価

ハイライト

- Payment Card Industry (PCI) のコンプライアンス要件への対応を支援
 - 極めて高度なセキュリティー保護により、重要な暗号鍵に対応
 - PCI コンプライアンス要件への現在の対応状況を評価するサービスにより、監査コストの削減を実現
-

2012 Verizon Data Breach Investigations Report によると、データ漏えいなどハッカーの被害を受けた企業の96%は、Payment Card Industry (PCI) Data Security Standard (DSS) の対象となっているにもかかわらずコンプライアンス要件を達成できていませんでした。¹ データ漏えいのほとんどは、PCI DSS に準拠していれば回避できたものでした。銀行、政府機関、保険会社など、クレジット・カードを処理する業界では、コンプライアンス問題を特定する能力が必要です。PCI DSS に準拠していない商店は、情報漏えいが発生した場合に、罰金やカード交換費用、コストのかかるフォレンジック監査が必要になることや、ブランド・イメージを損なうことがあります。IBM は、これらのコンプライアンス要件が、クレジット・カードを処理する組織や金融機関に課題をもたらすことがあると同時に、機会をもたらすこともあると認識しています。

PCI コンプライアンス要件に対応することで、組織内のデータ保護の質を高める機会がもたらされます。IBM® Payment Card Industry Hardware Option オファリングは、顧客の重要なカード情報を、保管、処理、または伝送時に保護できるように支援します。このオファリングは、ハードウェアとサービスを組み合わせており、ハードウェアにより、PCI コンプライアンス要件への対応を支援し、サービスにより、PCI コンプライアンス要件への対応レベルを判断できるように支援します。Trusted Key Entry (TKE) ワークステーションとスマート・カード機能をIBM System zのハードウェア暗号化構成とともに使用することで、PCI DSS に準拠した暗号鍵管理が可能です。

PCI コンプライアンス要件への対応を支援

PCI DSS に準拠することは、商品やサービスの決済手段としてクレジット・カード取引を処理するあらゆる企業や法人にとって、グローバルな要件となっています。セキュリティー問題とセキュリティー違反に満ちた、この変化し続ける環境の中で、お客様は最新のPCI標準に対応する必要があります。これには、Payment Card Industry Hardware Option オファリングのような堅固なハードウェア・インフラストラクチャーが必要になります。このハードウェア・ベースのソリューションは、以下の PCI コンプライアンス要件への対応に役立ちます。

- セキュア・ネットワークの構築と保守
- 顧客のカード情報の保護
- 脆弱(ぜいじゃく)性管理プログラムの保守
- 強力なアクセス制御手段の導入
- ネットワークの定期的なモニタリングとテスト
- 情報セキュリティー・ポリシーの保守



極めて高度なセキュリティー保護により、重要な暗号鍵に対応

IBM のお客様が System z を選択する理由は、System z のもたらすセキュリティーと暗号化機能、そして事業の継続を容易にするその統合環境にあります。System z を Trusted Key Entry ワークステーションとスマート・カード・リーダーで補完することで、Payment Card Industry Hardware Option オファリングは、System z のハードウェア暗号化を保護、管理するのに最適な環境を提供します。

このオファリングは、System z のハードウェア暗号化コプロセッサの管理の複雑さを軽減し、プロセッサの移行を簡素化し、暗号鍵のセキュリティーを向上させます。また、確固とした包括的な PCI 標準のコンプライアンス要件に対応しながら、極めて高度にデータを保護することが可能です。

PCI コンプライアンス要件への現在の対応状況を評価するサービス

クレジット・カード発行機関は、顧客のカード情報を保護し、流失を防ぐために、PCI DSS を積極的に適用しています。そのためには、確かなプロセスと成功実績を持つ経験豊富なパートナーが必要です。PCI の Qualified Security Assessor (QSA) と Approved Scanning Vendor (ASV) としてグローバルに認定された IBM は、PCI 評価を実施する資格を備えています。

Payment Card Industry Hardware Option オファリングの一環として、IBM は、システムを総合的に評価します。これにより、PCI コンプライアンス要件への対応レベルを把握できるほか、PCI DSS に準拠していることを証明できます。

PCI コンプライアンス・ソリューションで他社をリードする

Payment Card Industry Hardware Option オファリングは、極めてセキュアなハードウェア暗号化管理を実現するモデルの基盤となります。このソリューションを IBM のハードウェア暗号化とともに使用することで、重要な機密情報のセキュリティーやプライバシーを確保できます。

IBM は、コンプライアンス目標の達成をその対応プロセスも活用しながら実現できるように多くの企業を支援してきました。その結果、企業では、社員やプロセス、テクノロジーをより効果的に調整し、新機能を導入して、セキュリティー・インフラストラクチャーをより統合して効果的に構築できました。これらの企業は、コンプライアンスは課題であるように見えて実は機会であること、そしてこの課題に対して慎重なアプローチを取ることで、長期的に自社の地位を高めることが可能であることを認識しています。

プロバイダーの選択は重要です。実績、信頼性、資格を備え、PCI DSS を十分に把握しているだけでなく、ビジネスや関連するビジネス・プロセスへの影響も把握しているプロバイダーを選択することが重要です。次のステップに進む準備ができましたら、IBM にお問い合わせください。お客様とともにロードマップを作成します。

IBM をお勧めする理由

IBM は、ASC と QSA として認定されていることに加え、Security Standards Council によって PCI ソリューションのグローバル・プロバイダーとして認められているごく少数の企業のうちの1社です。IBM は、高度なスキルを備え、認定を受けたセキュリティー専門のスタッフをそろえています。スタッフは、業界固有の専門知識を備え、情報セキュリティーのベスト・プラクティスに基づくコンサルティング手法を活用します。また、単に PCI コンプライアンス要件への対応状況を評価するだけでなく、包括的なセキュリティー戦略の作成に関する詳細なアドバイスも提供できます。

詳細情報

IBM Payment Card Industry Hardware Option オフリングの詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。 ibm.com/systems/z/solutions/security



© Copyright IBM Corporation 2013

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
February 2013

IBM, IBM ロゴ, ibm.com, および System z は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。IBM が営業を行っているすべての国においてすべての製品を利用できるわけではありません。

本資料の掲載情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は自己の責任で関連法規を順守しなければならぬものとします。IBM は法律上の助言を提供することはいたしません。また、IBM のサービスまたは製品が、お客様がいかなる法規も順守されていることの裏付けとなると表明するものでも、保証するものでもありません。

¹ 2012 Verizon Data Breach Investigations Report: http://www.verizonenterprise.com/resources/reports/rp_data-breach-investigations-report-2012_en_xg.pdf



Please Recycle